

十分な教育を受けることは、障害の有無、置かれた状況如何にかかわらず、すべての人に開かれている権利です。しかしながら、現実にはさまざまなバリアが存在します。学生が大学で有効に学習を進めるために、今、何が必要とされているのでしょうか。豊富な事例報告を基に、「障害」と「学び」の意味をじっくり考えることを目的として、第一回となる京都大学バリアフリーシンポジウムを開催します。

バリアフリーとは、単なる障壁除去ではありません。互いの違いを認識・尊重し、バリアのあちらとこちらを自由に行き来するのが真のバリアフリーです。このシンポジウムでは、真のバリアフリーに立脚する「障害学習＝障害を通じて学びあうこと」を提案します。21世紀の「障害学習」として重要なのは、バリアを乗り越える柔軟性（しなやかさ）と能動性（したたかさ）なのではないでしょうか。京大の伝統である「自由」「自主」を活かした新たな知的探究の手法、「障害学習」のシステム作りを広く社会に発信できれば幸いです。



障害学生支援室
Support Office for Disability Students



京都大学 — しなやかで、したたかな「障害学習」のすすめ — バリアフリーシンポジウム

6月29日(土)～6月30日(日)

各日定員:250名(先着順)
参加費:無料(懇親会費は別途)

13:00～17:30 ※18:00より懇親会

9:30～16:30 ※16:30より総合博物館・障害学生支援室 見学

会場 京都大学 吉田キャンパス・北部構内 理学部6号館南棟 4階401号室
<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/modules/tinycontent9/index.php?id=1>

京都市バス17系統、203系統「京大農学部前」下車すぐ
同3系統、31系統、201系統、206系統「百万遍」下車、東へ徒歩10分

京阪電鉄出町柳駅下車、東へ徒歩20分

主催・事務局:京都大学 障害学生支援室(京都市左京区吉田本町) TEL:075-753-2317 FAX:075-753-2319 E-mail:d-support@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
共催(予定):京都大学 大学院理学研究科、京都大学 総合博物館、京都大学 学術情報メディアセンター
世話人:大野照文(京都大学 総合博物館)、河原達也(京都大学 学術情報メディアセンター)、広瀬浩二郎(国立民族学博物館)、
嶺重 慎(京都大学 理学研究科)、村田 淳(京都大学 障害学生支援室)、山本 斎(京都大学 理学研究科・理学部相談室)

京都大学バリアフリーシンポジウム プログラム

1日目/6月29日(土曜日)

12:30	受付
13:00	開会・挨拶
13:10	セッション1：現在——大学における障害学生支援 障害学生支援をテーマとする基調講演、および現役学生による座談会を通して、大学における学習環境の「現在」を浮き彫りにします。
	第1部 基調講演
	講演1 「障害学生支援・総論」 佐野(藤田)真理子(広島大学アクセシビリティセンター長・教授)
	講演2 「障害学生支援と障害者政策」 石川准(静岡県立大学国際関係学部・教授)
	第2部 学生座談会
	話題提供 「障害学生支援室の現状」 村田淳(京都大学 障害学生支援室・コーディネーター)
	座談会 「学生からの発信——わたしたちの学生生活」 出席：京都大学 障害のある学部生・大学院生 コーディネーター：村田淳(京都大学 障害学生支援室) コメントーター：岩隈美穂(京都大学 大学院医学研究科・准教授) 松原崇(大阪大学 障害学生支援ユニット・助教)
17:30	閉会
18:00	懇親会 1日目のプログラム終了後、以下のとおり懇親会を開催いたします。 参加希望の方は、申込の際にあわせてご連絡ください。
19:30	場所：京都大学 北部構内 北部生協2階 喫茶ほくと 費用：一般3000円、学生2000円 ※当日精算

●申込の締切と方法・その他

- ・出席される方は、必ず事前申込をお願いします。
申込は、**6月21日(金)**までとします。
申込は、以下のWebページにある申込フォームからお願いします
<http://www.ar.media.kyoto-u.ac.jp/b-free/>
Webからの登録が困難な場合には、下部の申込フォームを用い、FAXかE-mailでお申し込みください。
- ・最寄り駅(出町柳駅)あるいは最寄りのバス停(京大農学部前)からのガイドを希望される方は、その旨、申込フォームにご記入ください。
- ・2日目は日曜のため、構内の生協食堂がお休みです。各自、昼食をご用意ください。
建物入り口の左手に飲み物の自動販売機があります。なお会場での飲食は自由ですが、ゴミはお持ち帰りをお願いいたします。
- ・全体のレジュメ(講演概要)を作成し、活字版を当日配布します。希望者には点訳資料もお渡しします。
- ・手話通訳、パソコン要約筆記、磁気ループによる情報保障を行います。
- ・会場にあたっては、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。車イス等の方で自家用車での来場を希望される方は、事前に事務局へお問い合わせください。

2日目/6月30日(日曜日)

9:00	受付
9:30	セッション2：過去——視覚障害者の学習環境を考える 見ることを重視する高等教育にあって、視覚障害者の学習はどのようになされてきたのか。しっかり「過去」を検証し、新たな共活(共に活かす)概念を提案します。
	講演1 「盲学校における視覚障害者の学習——試行錯誤の40年を振り返る」 遠藤利三(元筑波大学附属盲学校・教諭)
	講演2 「京大点訳サークルの誕生——視覚障害学生支援の理想と現実」 新納泉(岡山大学 社会文化化学研究科・教授)
	講演3 「盲人は障害者なのか——京大初の全盲学生が“さわる文化”に出会うまで」 広瀬浩二郎(国立民族学博物館・准教授)
	フリーディスカッション 「共生から共活へ」 コーディネーター：岡田弥(日本ライトハウス情報文化センター)
12:30	昼休憩
13:30	セッション3：未来——バリアフリー理論の応用と実践-大学から社会へ 京都大学で行われているバリアフリー活動の実例を紹介し、多様な学びのあり方(ライフスタイル)が共存できる大学、そして社会の「未来」を展望します。
	講演1 「自動音声認識を用いた講演・講義への字幕付与——ユニバーサルな支援に向けて」 河原達也(京都大学 学術情報メディアセンター・教授)
	講演2 「博物館で学びが起きるとき——体験学習プログラム『サワツテ ミル カイ』の開発と展開」 大野照文(京都大学 総合博物館長・教授)
	講演3 「触って楽しむ天文学——宇宙を“感じる”試み」 嶺重慎(京都大学 大学院理学研究科・教授)
	総括・質疑応答
16:30	閉会挨拶
16:30	総合博物館・障害学生支援室 見学 事前申込制ではありません。参加希望の方は、2日目の昼休憩終了後までに世話人までお申し込みください。
17:30	

京都大学バリアフリーシンポジウム 申込フォーム

FAXあるいはE-mailでお申し込みください。

京都大学バリアフリーシンポジウムに参加します。

氏名(必須)：

ふりがな(必須)：

所属(又は住所)：

E-mail(又はFAX)：

参加日程 ※以下よりご選択ください。(必須)

・両日参加 ・6月29日のみ参加 ・6月30日のみ参加

FAX:075-753-2319

E-mail:d-support@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

懇親会(参加費は当日受け) ※以下よりご選択ください。

・参加する(一般3000円) ・参加する(学生2000円) ・参加しない

要望 ※以下よりご選択ください。

・点訳資料 ・拡大資料 ・手話通訳 ・PC要約筆記 ・磁気ループ ・不要

・その他(ご要望がありましたら下記へご記入ください。)

※最寄り駅(出町柳)・バス停(京大農学部前)からのガイドヘルプ・移動介助が可能です。
※車イス等の方で自家用車での来場を希望される方は、事前に事務局へお問い合わせください。